

地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来(4) - 研究推進のために必要な施策・組織

Current status and future vision of the geomagnetism and earth, planetary and space sciences - Projects and institutions

塩川 和夫^{1*}, 吉村 令慧², SGEPPS 将来構想検討ワーキンググループ³
Kazuo Shiokawa^{1*}, Ryokei Yoshimura², SGEPPS future survey working group³

¹ 名古屋大学太陽地球環境研究所, ² 京都大学防災研究所, ³ 地球電磁気・地球惑星圏学会

¹Solar-Terrestrial Environment Laboratory, Nagoya University, ²Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, ³Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences

地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPPS) では、2012年5月に将来構想検討ワーキンググループを発足させ、学会としての将来構想「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」をまとめてきた。この将来構想は、2013年1月の時点で完成版を作成し、学会ホームページでの公開と冊子体の作成を行った。本発表では、この「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」のうち、研究推進のために必要な施策・組織について紹介する。施策に関しては、人工衛星計画12件、100億円規模の大型地上施設整備計画2件、数十億円規模の中型地上施設整備計画4件、10億円以下の小型計画14件、技術開発計画6件、センター整備5件、の合計43件がリストアップされた。また組織では、大型研究機関、大学附属研究所、関連センターの17件が記述されている。

キーワード: 将来構想, 地球電磁気・地球惑星圏学会, 大型計画, 研究組織

Keywords: future vision, Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences, project plan, institution